

第1回 地域支えあい 井戸端会議 アンケート集計

A井戸端会議について

①今回の井戸端会議は情報交換の場となりましたか？

	A	B	合計
はい	19	20	39
いいえ	0	0	0
無回答	3	0	3

②地域支えあい活動における課題解決の場となりましたか？

	A	B	合計
はい	16	9	25
いいえ	2	2	4
無回答	3	9	12

③今回の井戸端会議を知ったきっかけは何ですか？

	A	B	合計
チラシ	4	1	5
社協だより	2	6	8
所属団体	民児協	4	7
	老人クラブ	4	9
	自治会	1	3
担い手養成講座	5	4	9
友人・知人	2	1	3

④次会の井戸端会議にも参加したいですか？

	A	B	合計
はい	7	4	11
いいえ	2	2	4
予定が合えば	11	14	25

⑤今回井戸端会期で話しきれなかったこと、ご意見などあればお書きください。

A

・訪問する場合、新型コロナの関係で訪問対象者が訪問することにどうおもうか？配慮することが大事。

・今日の会議の趣旨はコロナ対策だったのか。支えあいをどうするかではなかったのか。情報交換が必要なことは認めます。

・各地域の活動については無理してやらない方がいいのでは。

★「ささえあい」の実践をしている地域の話を知りたかった

・老人は家にずっといるわけではなく、通院や買い物で友人や知人にあったり、電話ではなしたり案外元気に暮らしておられる様子

・話し合いが現在のコロナウイルス禍の障害情報がおおくて支えあい井戸端会議の先があまり見えなかったです。回を重ねていく中で分かっていくのかな。

・参加人数が多くて井戸端会議になっていないように思います。参加者全員の意見が聞けるのは10名前後ではないでしょうか。少人数で開催するときと大人数で開催するときが合ってもいいのでは。

★近所付き合いを避けたいと思っている方の要援護者登録の難しさ。

・出席者全員に意見を聞くように司会をしてください。

・タイムスケジュールに従ってささえあいをを行うための話し合いかと思っていたがコロナ対策であった。

B

・自由な意見交換も最初はできるが、次回からはテーマを決めた意見交換のほうが良いと思います。(他2名)

・できるだけ密にならないようにということで机の配置を決めたと思うが、ほかのグループの声が結構うるさくて集中しにくかった。(他1名)

・中家村さんが活発に活動されているので刺激になりました。

・時間が足りなかった気がする。

★各種団体に参加しない方々の勧誘をどうするのか。

⑥次回の議題について特に話し合いことなどあればお書きください。また今後の井戸端会議で話し合いたい内容があればお書きください。

A

・コロナ禍では誰も責任をとれないので、すべての行事・集まりには判断は非常に難しい。早く収束して欲しい。

★「ささえあい」の実践している地区の具体的な活動をききたかった。

・もし災害時の支えあいだとしたら、防災関係の人を呼ぶ(答えられる人)が欲しいです。

・支えあいを行うための具体的な話合う内容の会議にしてください。司会進行の方法を検討していただきたい。

★生活支援をどのようにするか

B

・1回ごとにテーマを決めて話し合いをしたほうがよかったと思いました(他1名)

★孤立しないためにはどのような活動をしたらよいか。

・支える人の高齢化はどの会でも同じですね。

・話し合いの課題を2～3に設定したほうが良いのでは？

★老人クラブに若い人(60～70代)の人が入会しないので、入会してもらうには？

B コミュニケーションツールにかんして

⑦最も多い連絡手段

	A	B	合計
・携帯電話やスマホ	13	12	25
固定電話	7	4	11
メール	3	5	8
SNS(LINE等)	4	4	8

⑧普段からパソコンを利用していますか

	A	B	合計
はい	14	16	30
いいえ	5	4	9
無回答	5	0	5

⑨町や社協のパソコン教室

	A	B	合計
はい	7	4	11
いいえ	12	11	23
無回答	3	1	4

⑩町や社協のスマホ教室

	A	B	合計
はい	5	9	14
いいえ	16	7	23
無回答	2	3	5

C その他

⑪「つぶやき交換日記」を知っていますか

	A	B	合計
はい	4	9	13
いいえ	15	7	22
無回答	2	4	6

⑫つぶやきボランティア 回答者なし

⑬その他の質問・意見

AB

・コロナの状況でお付き合いが今までのようには行かなくなっていますが、なるべくコミュニケーションを取りながら見守りをしていきたい。

・ささえあいの実践の話をききたい

・ささえあいを進めるに当たっての課題をみつけない

・情報交換に加え、プラスの情報が欲しい。